

令和4年度第1四半期

退職等年金給付組合積立金 管理及び運用実績の状況



全国市町村職員共済組合連合会
National Federation of Mutual Aid Associations for Municipal Personnel

目次

・ 運用実績(概要).....	2
・ 市場環境.....	3
・ 資産構成割合.....	4
・ 運用利回り.....	6
・ 運用収益額.....	8
・ 資産額.....	10

(注) 資金運用に関する専門用語の解説については、当連合会ホームページ「資金運用関係情報」の「資金運用用語集」のページに掲載しています。

運用実績(概要)

運用利回り + 0.10% 実現収益率 (簿価)
(第1四半期)

運用収益額 + 6.70億円 実現収益額 (簿価)
(第1四半期)

運用資産残高 6,779億円 簿価
(第1四半期末)

年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。

(注1) 第1四半期の収益率は期間率です。

(注2) 収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注3) 実現収益額は、売買損益及び利息・配当金収入等です。

(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

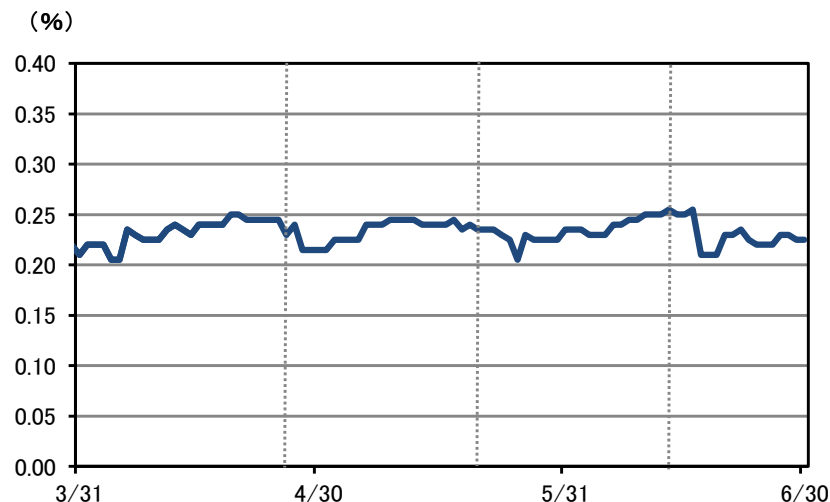
市場環境

○国内債券市場

10年国債利回りは、円安進行やFRB（米連邦準備制度理事会）の金融引き締め加速観測が強まったことから、4月に日銀の長期金利誘導目標上限である0.25%まで一時上昇しました。その後、日銀が10年債の金額無制限指値オペを毎営業日実施し、金利抑制姿勢を改めて示したことで0.2%台前半で高止まりました。6月中旬に円安が一段と進行すると日銀の金融政策変更の思惑が一部で高まり、一時0.265%を付けましたが、金融緩和政策維持が決定されると、やや低下して終了しました。

○日本10年国債利回りの推移

		令和4年3月末	令和4年4月末	令和4年5月末	令和4年6月末
国内債券	10年国債利回り (%)	0.21	0.22	0.24	0.23



(出所) Bloomberg

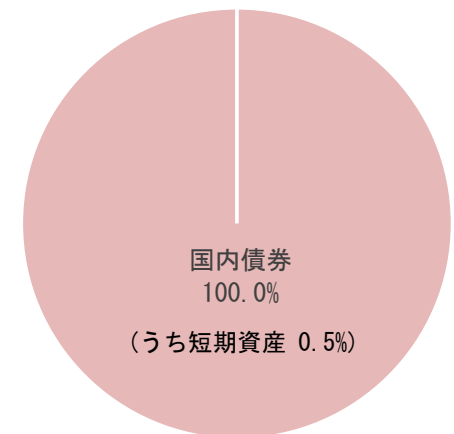
資産構成割合

資産ごとの構成割合（簿価）は以下のとおりです。

	令和3年度末	令和4年度				基本 ポートフォリオ
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末 (年度末)	
国内債券	100.0	100.0	—	—	—	100.0
うち短期資産	(1.5)	(0.5)	—	—	—	
合計	100.0	100.0	—	—	—	

(単位：%)

第1四半期末 資産構成割合



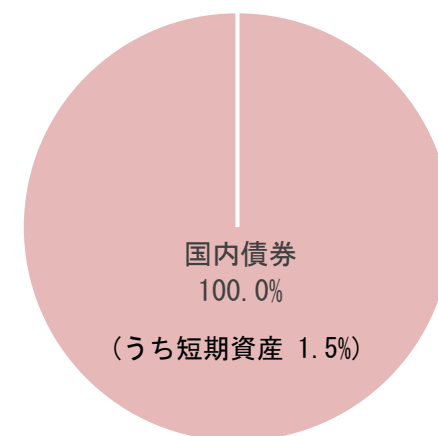
- (注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
(注2) 国内債券には、貸付金を含んでいます(国内債券に占める割合7.8%)。
(注3) ファンドで保有する短期資産は、原則として該当する資産区分に計上しています。
(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考)令和3年度 資産構成割合

(単位：%)

	令和2年度末	令和3年度				基本 ポートフォリオ
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末 (年度末)	
国内債券	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
うち短期資産	(1.7)	(0.7)	(0.7)	(0.7)	(1.5)	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

令和3年度末 資産構成割合



- (注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
(注2) 国内債券には、貸付金を含んでいます(国内債券に占める割合8.7%)。
(注3) ファンドで保有する短期資産は、原則として該当する資産区分に計上しています。

運用利回り

令和4年度第1四半期の実現収益率は、資産全体で0.10%となりました。
退職等年金給付組合積立金で保有する国内債券は、満期持ち切りを前提とするため、簿価評価としています。

(単位：%)

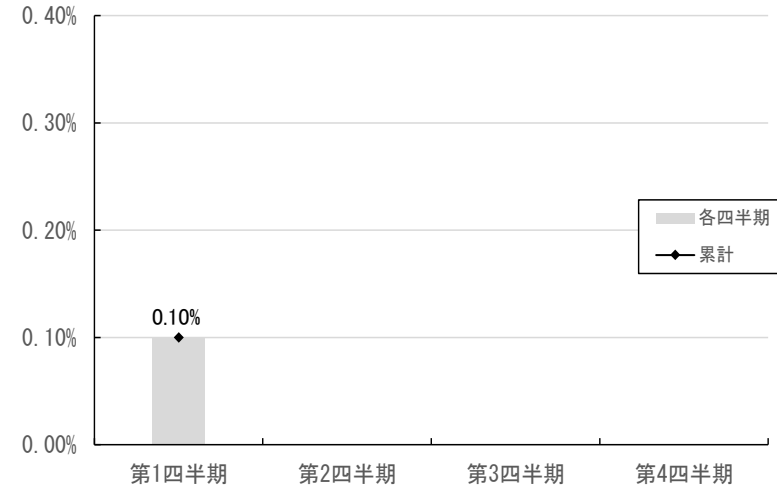
	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.10	—	—	—	0.10
国内債券	0.10	—	—	—	0.10
うち短期資産	(0.00)	—	—	—	(0.00)

(参考)

(単位：%)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	▲1.35	—	—	—	▲1.35

実現収益率の推移



(注1) 各四半期の収益率は期間率です。

(注2) 「年度計」は令和4年度第1四半期までの収益率です。

(注3) 国内債券には、貸付金を含んでいます。

(注4) 実現収益率及び修正総合収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注5) 修正総合収益率は、実現収益率に仮に時価評価を行った場合の評価損益の増減を加味したものです。

(注6) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 令和3年度 運用利回り

(単位：%)

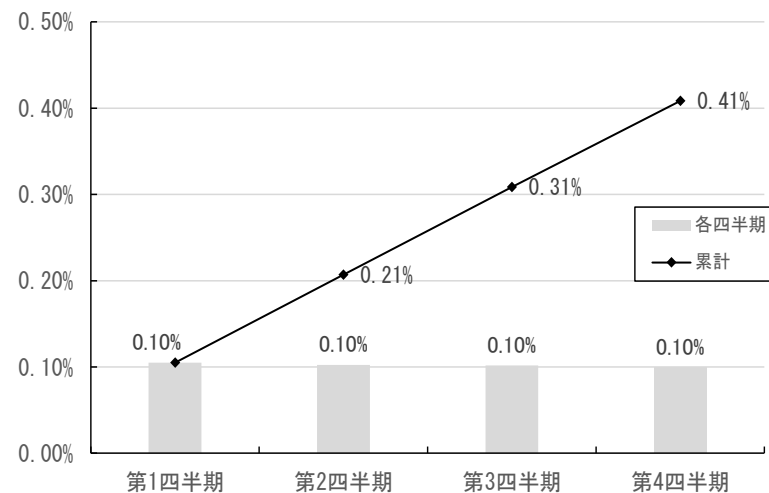
	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.10	0.10	0.10	0.10	0.41
国内債券	0.10	0.10	0.10	0.10	0.41
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)

(参考)

(単位：%)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	0.63	0.11	▲0.07	▲1.56	▲1.04

実現収益率の推移



(注1) 各四半期の収益率は期間率です。

(注2) 貸付金は、国内債券に含んでいます。

(注3) 実現収益率及び修正総合収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注4) 修正総合収益率は、実現収益率に仮に時価評価を行った場合の評価損益の増減を加味したものです。

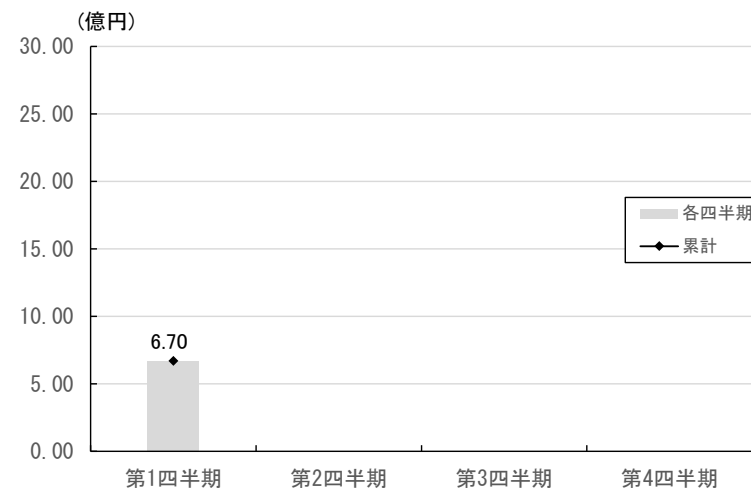
運用収益額

令和4年度第1四半期の実現収益額は、資産全体で6.70億円となりました。
退職等年金給付組合積立金で保有する国内債券は、満期持ち切りを前提とするため、簿価評価としています。

(単位：億円)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	6.70	—	—	—	6.70
国内債券	6.70	—	—	—	6.70
うち短期資産	(0.00)	—	—	—	(0.00)

実現収益額の推移



(参考)

(単位：億円)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	▲89.57	—	—	—	▲89.57

- (注1) 「年度計」は令和4年度第1四半期までの収益額です。
(注2) 国内債券には、貸付金を含んでいます。
(注3) 実現収益額及び総合収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
(注4) 実現収益額は、売買損益及び利息・配当金収入等です。
(注5) 総合収益額は、実現収益額に仮に時価評価を行った場合の評価損益の増減を加味したものです。
(注6) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
(注7) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 令和3年度 運用収益額

(単位：億円)

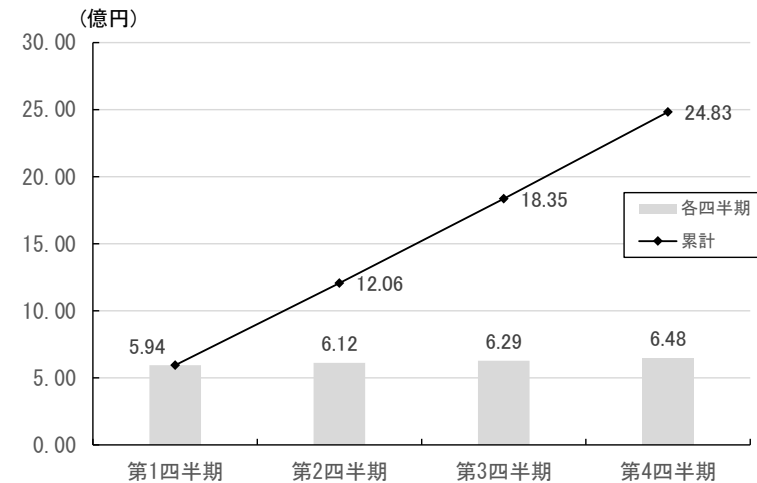
	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	5.94	6.12	6.29	6.48	24.83
国内債券	5.94	6.12	6.29	6.48	24.83
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)

(参考)

(単位：億円)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	35.50	6.75	▲4.13	▲101.68	▲63.56

実現収益額の推移



(注1) 実現収益額及び総合収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 実現収益額は、売買損益及び利息・配当金収入等です。

(注3) 貸付金は、国内債券に含んでいます。

(注4) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注5) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

資産額

資産ごとの簿価、時価総額及び評価損益は以下のとおりです。

(単位：億円)

	令和3年度末			令和4年度											
				第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			第4四半期末(年度末)		
	簿価	時価総額	評価損益	簿価	時価総額	評価損益	簿価	時価総額	評価損益	簿価	時価総額	評価損益	簿価	時価総額	評価損益
国内債券	6,646	6,574	▲71	6,779	6,617	▲162	—	—	—	—	—	—	—	—	—
うち短期資産	(99)	(99)	(0)	(34)	(34)	(0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	6,646	6,574	▲71	6,779	6,617	▲162	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注2) 時価総額及び評価損益は、仮に時価評価を行った場合の参考です。なお、評価損益には、未収収益を含んでいます。

(注3) ファンドで保有する短期資産は、原則として該当する資産区分に計上しています。

(注4) 国内債券には、貸付金(簿価526億円)を含んでいます。

(注5) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考)令和3年度 資産額

(単位：億円)

	令和2年度末			令和3年度											
				第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			第4四半期末(年度末)		
	簿価	時価 総額	評価 損益	簿価	時価 総額	評価 損益	簿価	時価 総額	評価 損益	簿価	時価 総額	評価 損益	簿価	時価 総額	評価 損益
国内債券	5,609	5,626	17	5,743	5,795	51	6,071	6,120	49	6,266	6,308	42	6,646	6,574	▲71
うち短期資産	(98)	(98)	(0)	(40)	(40)	(0)	(42)	(42)	(0)	(41)	(41)	(0)	(99)	(99)	(0)
合計	5,609	5,626	17	5,743	5,795	51	6,071	6,120	49	6,266	6,308	42	6,646	6,574	▲71

(注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注2) 時価総額及び評価損益は、仮に時価評価を行った場合の参考です。

(注3) 貸付金は、国内債券に含んでいます。

(注4) ファンドで保有する短期資産は、原則として該当する資産区分に計上しています。